

凍てついた冬に 萌えいつる緑が準備される。
陰を通ってきたからこそ 光は美しい。
世界と人生を抱きしめたい。

館野 泉著「命の響」集英社より



館野 泉

ピアノ・リサイタル 「左手の世界」【トーク付】

天皇皇后両陛下とは、館野が病に倒れる前から親交があり、2016年に開催された「館野泉 傘寿記念コンサート」に両陛下が鑑賞に訪れたニュースは記憶に新しい。左手のピアニスト、館野 泉の「左手の世界」は、「両手の世界」よりも、自由で、力強い。

プログラム

バッハ(ブラームス編曲): シャコンヌ
スクリャービン: 左手のための2つの小品 作品9(前奏曲・夜想曲)
光永浩一郎: サムライ(館野 泉に捧ぐ)
吉松隆: NHK大河ドラマ『平清盛』より〈遊びをせんとや〉(海鳴り)
山田耕筰(梶谷 修編曲): 赤とんぼ
coba: 記憶樹(館野 泉に捧ぐ) — 「館野 泉 左手の文庫」助成作品

2017年4月15日(土) 14:00開演 (13:30開場)



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER

メインホール

S席: ¥4,000 A席: ¥3,000 B席: ¥2,000 C席: ¥1,000
【全席指定・税込】*C席エリアには一部舞台が見え難い席がございます。ご了承の上お買い求めください。

キッズシート ¥500 (C席エリア限定)

U-25シート S席: ¥2,000 A席: ¥1,500 B席: ¥1,000

キッズ、U-25シートは、NCACチケットオンラインとNCACチケットセンター(電話/窓口)のみのお取り扱いとなります。

*小学生以上高校生以下の方のみ対象。

*公演当日25歳以下対象。購入時・入場時に身分証明書の提示が必要。

NCACチケットオンライン先行発売 2017年1月19日(木)10:00～ | 一般発売 1月21日(土)10:00～

【NCACチケットオンライン[インターネット予約]】<http://www.nagano-arts.or.jp/> 【NCACチケットセンター[窓口・電話]】TEL.026-219-3191 [10:00~19:00/火曜定休]
チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード 318-039) / ローソンチケット TEL.0570-000-407 (Lコード 32650) / ながの東急プレイガイド[窓口販売] / ヒオキ楽器本店シャコンヌ[窓口販売]

主催: 一般財団法人長野市文化芸術振興財団

● 出演者・曲目・その他に変更が生じる場合がございます。 ● 不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、他公演との交換はいたしません。 ● 未就学児のご入場はご遠慮いただきます。
● 車椅子席をご希望のお客様はNCACチケットセンターへお問い合わせください。 ● 駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

日本を代表するキャリアと実力をもち、2002年に舞台上で倒れながらも不屈の精神でリハビリを重ねて「左手のピアニスト」として現役復帰、2016年に80歳を迎えたピアニスト、館野泉。身に起きたすべてのことをありのままに受け入れ、発想も変え、精力的に演奏活動を行う一方で、多くの作曲家に「左手のためのピアノ曲」の作曲を働きかけ、今なお生き生きと音楽の新たな世界を切り開いています。叙情豊かで人間性あふれる彼の表現は、左手だけで演奏されていることを忘れてしまうほど、「館野泉」の音楽そのものなのです。



館野 泉 (ピアノ) Tateno Izumi, piano © Akira Muto

14年前に脳溢血で倒れて右半身不随となり、2年後にステージに復帰した時は左手のピアニストとなっていた。しかし、それが不幸だとか不自由だと感じたことは一度もない。左手だけでも、やっているのは音楽なのである。

レパートリーは確かにまだまだ少ない。しかし、かえってそれだからこそ両手で弾くものよりも表現が自由である。自分達が書きたいものを、これは誰かが自分より以前に書いた手法ではないかと心配することはない。多くの作曲家たちがそう言って、どんどん作品を書いてくれ、私はそれを演奏していく。自由に創意に溢れた曲が生まれくる由縁。不自由こそ自由だった。

バッハ=ブラームスのシャコンヌ、スクリャービンの前奏曲と夜想曲は名曲中の名曲。しかし吉松隆の《タビオラ幻景》や末吉保雄の《土の歌・風の声》も素晴らしいし、平野一郎の《微笑の樹》やcobaの《記憶樹》、三手連弾のためのコーディ・ライトの《祈り》やパブロ・エスカンデの《音の絵》なども見事である。光永浩一郎の《サムライ》はベルリンやパリなどでも絶賛された。左手でやれることには限りがない。

館野 泉

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 次代へ伝えたい名曲第7回 館野泉ピアノリサイタル公演ちらしり転載

1936年東京生まれ。1960年東京藝術大学首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。1968年メジアン・コンクール第2位。演奏会は世界各地で3500回以上、リリースされたCD・LPは130枚にのぼる。1981年よりフィンランド政府の終身芸術家給与を得て演奏活動に専念。1996年外務大臣表彰受賞。人間味溢れ、豊かな叙情をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得る。2002年脳出血により右半身不随となるが、不屈の精神で2004年「左手のピアニスト」として復帰。その左手のために第一線で活躍する作曲家より数多くの作品が献呈される。2006年「シベリウス・メダル」授与。同年、左手作品の充実を図るため「館野泉左手の文庫(募金)」を設立。以降、積極的に委嘱作を発表し続けている。2008年旭日小綬章受章、文化庁長官表彰受賞。2010年演奏生活50周年を迎え各地で記念公演を行なう。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」テーマ曲のソリストをつとめる。2012年以降はベルリンやデュッセルドルフほかドイツ各地、パリ、トゥールーズ、ウィーン、ブタペスト、チェコやフィンランド、エストニア、モンゴルなどで海外公演を行う。2年間を通じて行った左手ピアノ音楽の集大成「館野泉フェスティバル〜左手の音楽祭2012・2013」では、東京全16回公演でソロ作品から室内楽作品を紹介し、最終回は自身に奉げられた3つのピアノ協奏曲で全国ツアーし、壮大なプロジェクトを完結。2012年度東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門賞(旧エクソンモービル音楽賞)受賞。2014年6月ベルリン・フィルハーモニー・カンマザールでのリサイタル、2015年12月パリでのリサイタルはいずれも聴衆総立ちのスタンディング・オーベーションで讃えられた。2016年80歳記念コンサート〜4つの協奏曲〜を南相馬と東京で開催。同年12月ラハティ交響楽団と共演し「真の巨匠」と賞賛された。

著書「ピアニストの時間」(みすず書房刊)、「ひまわりの海」(求龍堂刊)、「ソリストの思考術-館野泉の生きる力」(六耀社刊)、「命の響」(集英社刊)ほか。左手のCDは「風のしるし」「シャコンヌ」「サムライ」ほかリリースされる(エイベックス・クラシックス)。

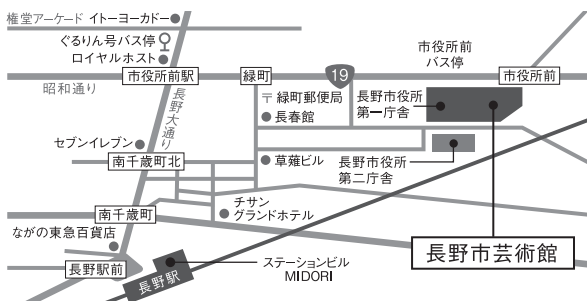
南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長、日本シベリウス協会最高顧問、日本セヴラック協会顧問。館野泉オフィシャル・ホームページ <http://www.izumi-tateno.com/>

●公演についてのお問合せ (一財)長野市文化芸術振興財団 <http://www.nagano-arts.or.jp/> TEL. 026-219-3100 info@nagano-arts.or.jp

関連企画

NCAC音楽大学「音楽の分かる大人になろう!」講座「孤高のアーティスト? ピアニストたちのひみつ」 3月26日(日)14:00
 講師:柴田克彦(音楽ライター) 会場:長野市芸術館リサイタルホール 全席指定 1回券500円

おすすめ① 関連の「4/15館野泉ピアノ・リサイタル」公演チケットを持参した人に限り、講座の当日券を無料にて提供(チケットセンター窓口にて講座当日のみ受付)
 おすすめ② 講座終了後、関連の「4/15館野泉ピアノ・リサイタル」公演チケットを、S席に限り500円引きにて販売(チケットセンター窓口にて講座当日のみ販売)



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER

- 〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地
- 電車 長野電鉄「市役所前」駅下車。2番出口より昭和通りを東へ徒歩約3分
 - 徒歩 JR長野駅善光寺口より長野大通りを北へ。「市役所前駅交差点」を右折して昭和通りを東へ。約12分
 - バス ①長野駅前バス停(C-16)より、ぐるりん号で「市役所入口」下車。通りを渡って徒歩約3分
 ②長野駅④番乗り場より、45番市役所経由北屋島行き、または46番大島東団地行きに乗り「市役所前」下車。通りを渡って目の前
 - 車 ①須坂長野東ICより約20分(8km) ②上信越自動車道・長野ICより約30分(10km)